

ハードオフグループでは、当社で働く社員・パートアルバイトスタッフの皆さんは会社の大切な財産であるという考えから人材ではなく人「財」の文字を使用し、「企業は人財がすべて」という言葉のもと、その育成を経営の最重要課題と位置づけています。こうした中で2022年を健康経営取り組み元年とし、社長を委員長とした健康経営推進委員会を立ち上げ、社員・スタッフの健康保持・増進を基盤とする組織の活性化および人財定着や採用力の向上を目的として、健康課題にもとづく取り組みの検討・実施を行っています。また、同時に社員・スタッフが「50年安心して働くことができる会社」「幸せを感じられる会社」、さらにその「家族をも大切にできる会社」を目指し、転勤制度の見直し、定年年齢の延長、マイホーム祝金の新設、単身赴任制度の見直し等の制度改革を行いました。

今後も産業医・健康保険組合等の専門家と連携しながら、社員・スタッフと協働で目標数値の達成に向けた取り組みの実施やより良い職場環境実現のための制度改革等を通して、全社一丸となって持続可能な社会の実現を目指してまいります。

健康経営で解決したい経営上の課題
 今後も安定したリユース店舗の出店を続け、リユース事業を拡大することによりエコロジーとエコノミーを共生させた社会づくりに貢献していくために、ノウハウを持った既存の従業員および将来を担う今後の新規採用従業員が、心身ともに健康かつワークエンゲイジメントが高い状態で長く働いてもらうこと

健康経営の実施により期待する効果
 企業イメージの向上により、新卒・中途採用者数の増加を図り、店舗数の拡大に見合う十分な人員を確保する（目標指標：2030年度までに離職率5%以下）

戦略マップ

健康経営をととして目指す会社の姿

すべての社員・スタッフが 心身ともに健康で、元気に笑顔 で働き、全社一丸となって持続可能な社会の発展に取り組む

